

## 12月27日キッズリーダー講習会 in 飯富特別支援学校

12月27日に水戸市飯富特別支援学校の先生を対象にキッズリーダー講習会（U-6）を実施致しました。このキッズリーダー講習会はキッズに関わる高校生以上を対象に行う講習会で、2015年度も542名の方が茨城県で受講し、今回は28名の方に受講して頂きました。講習会では講義（90分）と実技（90分）を行いました。

講義は約90分で行い、「アイスブレイク」として他己紹介（パートナーを周りに紹介する）を行い受講者同士の緊張をほぐしながらスタートしました。学校の先生ということもあり、既に知っている内容もあったかと思いますが、『ゴールデンエイジ』という言葉など、サッカー界では広く伝わっている言葉なども説明すると興味深く聞いていただけました。その後もグループディスカッションなどを取り入れながら、『子どもの発育発達（脳の可塑性）』『スキヤモンの発達曲線』などを通じて、年代によって取得しやすい能力の違いを説明しました。『子ども達のサッカー』では年齢に応じたサッカーの特徴がみられること、『子ども達への接し方』では親や指導者としての自立させるための関わり方なども伝えさせて頂きました。



その後、実技では『からだを動かす楽しさ・喜び』を感じて頂くことと『様々な動きを体験する』ことを目的に4つの系(鬼ごっこ系・ボールフィーリング系・動き作り系・ゲーム)を組み合わせながらメニューを作成いたしました。

始めにアイスブレイクもふまえ、ペアやグループづくりを行い、続いてパターンを変えながら「鬼ごっこ」を行いました。メニューは大人の方も楽しみながら、その中にも動きや思考へのはたらきかけの「ねらい」を伝え、「ボールフィーリング」では1人で行うメニュー、2人組で行うメニューを体験していただき、『少し難しい』と思う動きを経験することで神経系の回路が発達していくことも伝えました。

休憩を挟み、「1対1」を行いました。最初は手で行い、右手で投げたり、両手で投げたり、体全体を使って行い、次に足で行い、足でボールを扱う難しさを感じてもらえたのではないかと思います。

最後は参加者全員でゲームを行いました。真剣勝負のなかにも楽しさもあり、みなさん全力で取り組んでもらえたと思います。

実技終了後、そのまま閉講式となりました。受講者の方1人1人に修了証のグリーンカードをお渡しし、全員で集合写真を撮影し講習会は終了しました。



## 参加者コメント

- ・「No line, No Laps, No Lecture」など、まさに授業においても生かすことの出来る内容でした。こどもたちをいかに動かすか『D o』の場をいかに作るか、とても勉強になりました。(20代女性)
- ・こどもたちをやるきにさせる言葉かけや、待たないで体を動かす方法など楽しく学ぶことが出来ました。支援学校の子どもたちの体の発達と理解や能力の発達の両面からどのような遊びが出来るか考えていけたらと思います。(40代女性)
- ・こちらの言葉かけや練習のしかたのひとひねりの工夫でこどもたちのやる気の向上や取り組む姿勢というのが変わると感じた。それは授業でも同じだと思うので工夫していきたい。(20代男性)
- ・言葉かけの大切さを感じた。いかに運動量を増やす工夫(N o, L i n e)は授業等に生かせると思うので今後役に立てていきたい。(40代男性)
- ・実際にこどもたちに教えているコーチに実践をまじえて教えていただき、とても楽しく勉強になりました。「そんな子、いるいる」と実際に自分が指導するときにはどうしようかな、と具体的に考えることもできた。(20代女性)
- ・年齢にあったトレーニング、練習内容を行うことが大切だと思いました。実際に体育の授業でも運動量の確保という点でもとても勉強、参考になりました。参加して良かったです。(30代男性)
- ・私は今までサッカーという足でボールを蹴るということに、かなりの失敗経験があり、苦手でした。なのでこどもたちに指導するときも「これが出来ればいいか」と技術面だけを教えていました。今回の講習を受け、「こんなに楽しいことを教えたいと思うし、楽しいとこどもたちに思ってもらいたい」と思い、今後の指導に生かしていきたいと感じました。(20代男性)

### 講師 堀之内寛(茨城県キッズ委員会/JFA公認キッズリーダーインストラクター)

今回、縁があり飯富特別支援の先生方を対象に講習会を実施させていただきました。講義の内容では流石に先生方ということで既知の内容もあったかと思いましたが、意外と「ゴールデンエイジ」などの言葉に触れていた方は少なく、興味深く聞いていただきました。また、講義の中でも積極的に発言いただき、一方通行ではない講義が出来たかと思えます。実技でも始めの鬼ごっこから一生懸命取り組んでいただき、和気あいあいとした雰囲気の中で終始行えました。この年代ではサッカーの楽しさや、体を動かすことの楽しさを伝えながらその中で、こどもたちの活動の時間を確保できるようなオーガナイズや声掛けを工夫するなどの指導のポイントなどもお伝えすることが出来ました。今回、受講いただいた先生方は通常は障がいを持っているこどもたちを指導されていますが、今回の講習が少しでもみなさまの指導の参考になるのであれば幸いです。忙しい中で受講いただきありがとうございました。

以上